

第3次甲斐市総合計画基本構想（案）のパブリックコメント等の結果について

1 パブリックコメントの実施結果について

（1）実施期間 令和6年6月26日（水）～7月17日（水）

（2）受付件数 2件

（3）意見の内容及び回答

No.	意見（要約）	市の考え方
1	教育や地域のコミュニティの整備として、甲斐市立敷島中学校のアーチェリー場の改修もしくは新設を希望します。 現在気温上昇による熱中症の危険が高まっていますが、片面のみ屋根が付いている状況です。生徒の安全な練習のためにもこの屋根を全面につけてもらいたいです。 現在アーチェリー場は敷島交番の向かいにあります。 希望では敷島図書館の裏にある公園に新設し、30m以上が練習できるようになると1番ありがたいです。	基本構想は市政運営の基本的な方針を定めるものであるため、政策実現のための個別具体的な事業については記載いたしません。 アーチェリー場の改修若しくは新設については、いただいたご意見を参考とさせていただきます、今後検討をしていきたいと考えております。
2	基本構想及び重点戦略に甲斐市の中心、核となる施設を位置付ける必要があるのではないか。 3町合併から長い年月が経過しており、旧町の垣根を超えたシンボリックな構想や具体的な施設構想が必要と考えます。	基本構想については、市政運営の基本的な方針を定めるものであるため、政策実現のための個別具体的な計画等については記載いたしません。 令和8年度中の完成を目指している（仮称）篠原地区公園内の「子ども体験学習施設」は、子育て支援や多世代の交流・学びの拠点として、多くの市民・団体の皆様からいただいたアイデアやワークショップでの意見を踏まえ、整備を進めております。

2 市議会議員、総合計画審議会委員からの意見について

(1) 受付期間 令和6年6月25日(火)～7月9日(火)(市議会議員)
 令和6年6月24日(月)～7月9日(火)(総合計画審議会委員)

(2) 受付件数 市議会議員 2件
 総合計画審議会委員 0件

(3) 意見の内容及び回答

No.	意見(要約)	市の考え方
1	基本目標(案)をみると、これから社会を支える中心となっていく若年層を本市に留めるための政策が見当たらない。若者の地元定着のための政策として、企業誘致や奨学金返済支援を含む地元企業への支援、就活生自身による地元企業案内、起業支援だけでなく、若者の地元への愛着醸成のためのまちづくりへの参画(若者議会など政策諮問機関設置)についても「甲斐市を育てる人づくり」のための重要な政策として検討すべきである。	基本構想は市政運営の基本的な方針を定めるものであるため、政策実現のための個別具体的な政策等は記載いたしません。 若者の地元定着のための政策については、現行計画の基本目標5-(2)「特色ある地域産業の振興」に記載しております。 いただきましたご意見については、次期基本計画及び総合戦略策定の参考とさせていただきます。
2	市中北部は市の半分近い面積がありながら、手つかずである。 食料自給率・観光・環境面からも農林業の発展について本格的な研究・計画が必要と考える。 10人に1人の子どもが貧困状態にある。子育て支援の充実している自治体は転入に有利な傾向がある。小中学校の支援(給食・教材他)を拡充すべき。特にひとり親家庭には特別な配慮が欲しい。	基本構想は市政運営の基本的な方針を定めるものであるため、政策実現のための個別具体的な政策等は記載いたしません。 農林業政策については、現行計画の基本目標5-(1)「魅力ある農林業の振興」に記載されております。 貧困世帯に対する支援については、基本目標1-(3)「だれもが安心して学べる教育環境づくり」及び基本目標2-(2)「切れ目のない子ども・子育て支援の充実」に記載しております。 いただきましたご意見については、次期基本計画及び総合戦略策定の参考とさせていただきます。